

## 第4章 重視している資格・検定の企業内における扱い

今回の調査では、企業が重視していると答えた1つ1つの資格・検定について、それぞれ企業内における位置づけや、取得をめぐる人事管理の内容をたずねている。本章ではこの資格・検定単位で集めたデータを基に、調査で挙げた各種の資格・検定が企業内における扱いという点でどのような特徴を持つのかを明らかにしていく。

なお以下では、企業による回答の傾向を捉えきれないという理由から、各設問についての集計・分析から、回答数が20以下の資格・検定は除いている。

### 第1節 資格・検定の取得を最も重視している部門

それぞれの資格・検定を最も重視している部門についての回答を図表4-1にまとめた。

「管理事務部門」で重視しているという回答の割合が最も高いのは、「社会保険労務士」、「衛生管理者」という2つの資格である。第3章でみた業種別での重視度（図表3-3参照）と重ね合わせてみると、衛生管理者は運輸業、製造業、飲食・宿泊業といった業種の管理部門で重視されている傾向が強いとみられる。「経理部門」で重視しているという回答の割合が最も高いのは「簿記」で、重視しているというケースの66.7%にのぼっている。

「営業・販売」部門で重視するという回答が最も高くなっているのは、「販売士」、「ファイナンシャル・プランナー」、「旅行業務取扱主任者」、「宅地建物取引主任者」である。業種別の重視度も念頭におくと、販売士は卸売・小売業の営業・販売部門で重視されている資格・検定であると考えられる。

「製造」部門で重視されているという回答が最も高いのは、「有機溶剤作業主任者」ほか10の資格・検定である。これらの多くは製造業での重視度が他の産業における重視度に比べとりわけ高くなっている。ただ、「安全管理者」については、製造部門で重視しているという回答が32.8%であるのに対し管理事務部門で重視しているという回答が28.7%と、製造部門のみで重視されているというわけではなく、業種別の重視度をみても製造業で重視する企業が24.7%である一方で、運輸業の企業で重視する割合は29.5%と製造業を上回っている。安全管理者については運輸業の管理事務部門で重視されているのではないかと推測することができる。

「基本技術者」、「応用技術者」、「オラクルマスター」などの情報技術関連の資格・検定は「情報システム関連」部門で、「施工管理技士」、「二級建築士」、「一級建築士」、「技術士」といった資格・検定は「建設」部門で重視される割合が最も高く、それぞれの資格・検定の内容から推測される結果となっている。「その他」の割合が最も高かったのは、「自動車整備士」、「調理師」、「電気工事士」の3つであるが、それぞれ重視されると見られる部門（例えば「調理師」の場合は、料飲サービスを担う部門）が、選択肢として挙げられていなかったためにこうした結果になっているものと思われる。

図表4-1 資格・検定の取得を最も重視している部門

	n	(単位: %)														
		管理事務	経営企画	法務	経理・財務	広報・宣伝	情報システム関連	営業・販売	購買・物流	研究開発・設計・デザイン	製造	運輸	建設	その他	会社全体として重視	無回答
社会保険労務士	42	54.8	0.0	11.9	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	19.0	2.4
衛生管理者	465	46.2	0.9	1.5	0.0	0.0	0.2	4.5	0.2	0.2	14.0	3.4	0.4	3.7	20.9	3.9
簿記	201	10.9	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	14.9	3.0
基本情報技術者	62	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.3	0.0	0.0	8.1	3.2	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0
応用情報技術者	52	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	76.9	1.9	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
オラクルマスター	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	0.0	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	17.4	0.0
ITパスポート	39	5.1	5.1	0.0	0.0	0.0	48.7	17.9	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	2.6
マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト	21	28.6	0.0	0.0	9.5	0.0	38.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	14.3	0.0
販売士	41	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	90.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0
ファイナンシャル・プランナー	26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.6	3.8
旅行業務取扱主任者	24	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3
宅地建物取引主任者	66	4.5	1.5	0.0	0.0	0.0	48.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	9.1	12.1	21.2	1.5
有機溶剤作業主任者	97	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	78.4	2.1	1.0	6.2	6.2	2.1
溶接	86	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	76.7	1.2	3.5	10.5	1.2	2.3
技能検定	220	1.4	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0	5.0	0.5	5.0	67.3	0.5	4.1	4.5	9.5	0.9
クレーン・デリック運転士	71	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	1.4	66.2	12.7	1.4	7.0	7.0	1.4	1.4
玉掛け技能	179	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.2	0.6	65.9	11.2	4.5	7.3	5.0	1.7	1.7
フォークリフト技能者	362	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	15.2	0.8	49.7	19.1	0.0	3.3	3.6	3.6	3.6
ボイラー技士	67	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.8	0.0	3.0	31.3	11.9	3.0	3.0
危険物取り扱い	230	5.7	0.0	1.3	0.4	0.0	0.4	7.8	1.7	4.3	44.3	8.7	2.2	6.5	13.0	3.5
安全管理者	195	28.7	0.5	0.5	1.0	0.0	0.0	4.6	1.5	0.5	32.8	9.2	2.1	2.1	12.3	4.1
電気主任技術者	110	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	4.5	0.0	6.4	31.8	0.0	12.7	25.5	12.7	1.8
施工管理技士	172	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.6	4.7	3.5	0.0	62.8	4.7	12.8	4.1
二級建築士	41	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	0.0	12.2	0.0	0.0	51.2	0.0	12.2	7.3
一級建築士	101	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	26.7	1.0	0.0	49.5	2.0	9.9	4.0
技術士	46	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	32.6	4.3	0.0	39.1	4.3	10.9	4.3
自動車整備士	87	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	14.9	0.0	0.0	4.6	11.5	0.0	55.2	9.2	3.4
調理士	69	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	20.3	0.0	1.4	11.6	0.0	0.0	47.8	10.1	7.2
電気工事士	108	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	7.4	0.0	1.9	14.8	0.0	20.4	34.3	17.6	2.8
社会福祉士	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	72.7	0.0
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	132	1.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4	1.5	3.0	0.8	0.8	0.0	8.3	65.2	3.8
ケアマネージャー	30	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	60.0	0.0
中小企業診断士	20	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	5.0
看護師	34	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3	55.9	5.9
介護福祉士	37	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	40.5	54.1	2.7
建築物環境衛生管理技術者	22	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1	27.3	45.5	0.0
薬剤師	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	3.7
自動車免許	249	0.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	25.7	1.6	0.4	4.4	22.9	0.8	1.2	38.2	3.6
社内資格・検定	116	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	23.3	0.0	2.6	23.3	1.7	0.0	10.3	34.5	1.7
管理栄養士	36	2.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	30.6	30.6	8.3

「会社全体として重視」という回答の割合が最も高いのは11の資格・検定である。これらのうち、「社会福祉士」、「ケアマネージャー」、「介護福祉士」、「中小企業診断士」といった資格・検定は、特定の産業における重視度がその他の産業における重視度に比べて目立って高く、ある業種に属する企業においては部門に関係なく重視されているといったケースが比較的多いと見られる。他方、「語学検定」は業種間で重視度の差があまりなく、重視される傾向に業種や職種による偏りがみられない資格・検定といえる。

## 第2節 社内における位置づけ

社内での位置づけという形で、重視している各資格・検定の取得者をどのようにして確保しているかをたずねた。選択肢は「業務命令で取得させる」、「一定の職位までに取得を奨励」、「自己啓発のために取得を奨励」、「有資格者を採用」、「その他」の5つで、その中から複数を選択できるという形をとっている。

「その他」を除く57種の資格・検定につき、最も回答の割合が高かった選択肢に基づいて、**図表4-2**に示すように分類を行った。なお本章で取り上げるそのほかの質問の集計・分析においても、この分類方法を用いることとする。

「業務命令で取得させる」という選択肢の回答割合が最も高かった資格・検定は、会社主導で従業員に取得をさせている資格・検定であるといえる。この「会社主導型」のタイプに該当する資格・検定は、「玉掛け技能」、「クレーン・デリック運転士」、「フォークリフト技能者」、「溶接」といった主に製造業、運輸業の業務を行う上で必要となる業務独占型の資格・検定や、「衛生管理者」、「安全管理者」のような、法律で義務付けられている担当者が取得していなければならない資格・検定である。

「一定の職位までに取得を奨励」または「自己啓発のために取得を奨励」の回答の割合が最も高かった資格・検定は、「取得奨励型」タイプと称することができるだろう。「一定の職位までに取得を奨励」の回答割合が最も高い資格・検定は、取得奨励型の資格・検定の中でも企業が取得を主導する性格が強いものと捉えることができ、「技術士」、「施工管理技士」、「社内資格・検定」が該当する。ただ、「業務命令で取得させる」、「自己啓発のために取得を奨励」の回答割合もそれぞれの資格・検定において一定程度に達しており、より会社主導の性格を強める場合もあれば、取得が従業員の意思により任される場合もある資格・検定と言える。

一方、「自己啓発のために取得を奨励」の回答割合が最も高い資格・検定は、従業員主導の取得奨励型と特徴づけられる。「オラクルマスター」、「マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト」、「基本情報技術者」、「応用情報技術者」といった情報技術に関わる資格・検定や、「中小企業診断士」、「社会保険労務士」、「ファイナンシャル・プランナー」など経営・財務系の資格・検定、「語学検定」などが、従業員主導の取得奨励型としての性格がとりわけ強いと見られる。

図表4-2 資格・検定の位置づけ（複数回答）：回答によるタイプ分け

(単位：%)

		n	業務命令で 取得させる	一定の職位 までに取得 を奨励	自己啓発の ために取得 を奨励	有資格者を 採用	その他	無回答
会社主導型	玉掛け技能	179	82.7	14.5	11.7	14.5	1.7	0.0
	クレーン・デリック運転士	71	81.7	16.9	12.7	21.1	1.4	0.0
	フォークリフト技能者	362	77.1	12.7	10.8	22.1	3.0	0.6
	溶接	86	75.6	17.4	23.3	18.6	2.3	2.3
	有機溶剤作業主任者	97	75.3	18.6	19.6	7.2	4.1	1.0
	安全管理者	195	64.6	26.2	13.8	5.6	3.6	1.0
	危険物取り扱い	230	62.2	21.7	26.1	17.4	1.3	0.0
	衛生管理者	465	60.6	23.7	23.0	8.0	5.6	0.6
	ボイラー技士	67	49.3	22.4	32.8	35.8	3.0	0.0
	建築物環境衛生管理技術者	22	40.9	27.3	40.9	31.8	0.0	0.0
取得奨励型	技術士	46	17.4	54.3	41.3	26.1	4.3	2.2
	施工管理技士	172	37.8	43.6	34.9	32.6	2.9	1.7
	社内資格・検定	116	33.6	41.4	25.0	2.6	12.1	0.0
	中小企業診断士	20	0.0	5.0	85.0	10.0	5.0	0.0
	オラクルマスター	23	21.7	8.7	82.6	8.7	0.0	0.0
	マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト	21	19.0	19.0	76.2	14.3	9.5	0.0
	応用情報技術者	52	3.8	40.4	75.0	7.7	0.0	0.0
	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	132	6.8	23.5	74.2	17.4	2.3	2.3
	社会保険労務士	42	2.4	9.5	73.8	14.3	7.1	0.0
	基本情報技術者	62	6.5	35.5	71.0	9.7	0.0	0.0
	販売士	41	14.6	22.0	70.7	0.0	2.4	0.0
	ファイナンシャル・プランナー	26	3.8	34.6	69.2	0.0	3.8	0.0
	ITパスポート	39	23.1	23.1	64.1	2.6	0.0	0.0
	ケアマネージャー	30	3.3	36.7	60.0	56.7	6.7	0.0
	簿記	201	13.9	23.4	57.2	26.4	2.0	3.0
	社会福祉士	22	4.5	27.3	54.5	50.0	0.0	4.5
	宅地建物取引主任者	66	24.2	31.8	50.0	19.7	7.6	0.0
	技能検定	220	35.9	32.7	49.1	11.4	4.1	0.5
	二級建築士	41	12.2	39.0	46.3	31.7	2.4	2.4
	旅行業務取扱主任者	24	25.0	37.5	45.8	8.3	8.3	0.0
電気主任技術者	110	30.9	26.4	45.5	29.1	3.6	0.9	
電気工事士	108	27.8	28.7	43.5	34.3	4.6	2.8	
採用型	薬剤師	27	0.0	0.0	0.0	96.3	3.7	0.0
	看護師	34	0.0	8.8	11.8	88.2	5.9	0.0
	自動車免許	249	24.5	4.8	5.6	63.9	12.0	3.2
	管理栄養士	36	5.6	19.4	41.7	61.1	8.3	2.8
	介護福祉士	37	2.7	32.4	45.9	59.5	5.4	0.0
	自動車整備士	87	36.8	26.4	24.1	49.4	8.0	1.1
	調理士	69	7.2	23.2	36.2	46.4	5.8	4.3
一級建築士	101	20.8	41.6	40.6	42.6	4.0	0.0	

「有資格者を採用」の回答割合が最も高い「採用型」タイプに該当するのは、調査で挙げた各種資格・検定のうち、8つの資格・検定である。このうち「有資格者を採用」に回答が集中し、「採用型」としての性格がとりわけ強いと考えられるのは、「薬剤師」、「看護師」の医薬系の資格・検定と、「自動車免許」である。「採用型」タイプの他の資格・検定のうち、「管理栄養士」、「調理師」、「一級建築士」は取得奨励型の性格を、また「自動車整備士」は会社主導型の性格を併せ持つと捉えることができる。

### 第3節 取得までの支援

重視する資格・検定を従業員が取得するにあたって、企業側はどのような支援を行っているか。「受講料、講習会費などの費用を援助」、「受験や講習会の受講に時間的に配慮」、「勉強会・講習会を独自に開催」、「特に支援していない」の中から複数選択可能という形で、回答してもらった（図表4-3）。

多くの資格・検定は、「受講料、講習会費などの費用を援助」の回答割合が最も高い「費用支援型」に該当する。ただ、このタイプに該当する資格・検定のなかでも、「自動車整備士」については「受験や講習会の受講に時間的に配慮」の回答割合が、「受講料、講習会費などの費用を援助」と変わらない程度に達している。また「簿記」は、「特に支援していない」と回答する割合が、「受講料、講習会費などの費用を援助」の回答割合とさほど差がない。

「受験や講習会の受講に時間的に配慮」の回答割合が最も高い「時間配慮型」に該当するのは、「ケアマネージャー」、「介護福祉士」、「社会福祉士」で、いずれも老人介護・福祉業で活用されている資格・検定である。また、「勉強会・講習会を独自に開催」の回答割合が最も高い「勉強会型」にあたるのは、「社内資格・検定」のみであった。

「特に支援していない」の回答割合が最も高い「無支援型」に該当するのは、「薬剤師」、「自動車免許」、「看護師」、「社会保険労務士」、「調理士」、「管理栄養士」の6つである。これらの資格・検定は「社会保険労務士」を除くと、いずれも社内における位置づけという観点からは「採用型」として特徴づけられる資格である。

資格・検定の取得に対する企業側からの支援については、いまひとつ支援の対象となる従業員についてもたずねている。この質問については、「正社員・非正社員いずれも対象」、「正社員のみ対象」、「非正社員のみ対象」、「支援はしていない」の4つの選択肢から1つを選んでもらう形式で回答を得ている（図表4-4）。

回答結果を見てみると、ほとんどの資格・検定は「正社員のみ対象」の回答割合が最も高い、「正社員支援型」タイプの資格・検定である。「正社員・非正社員いずれも対象」の回答割合が最も高い「雇用形態無関係型」タイプと言えるのは、「介護福祉士」、「社会福祉士」、「ケアマネージャー」の3つで、資格・検定の取得に対する支援施策の観点からみたタイプでは「時間配慮型」に該当するものと全く同じである。「支援はしていない」の回答割合が最も高い「無支援型」は、「調理士」、「薬剤師」、「自動車免許」、「看護師」の4つであった。

図表4-3 資格・検定の取得に対する企業側の支援の内容（複数回答）：回答によるタイプ分け

(単位：%)

		n	受講料、講習会費などの費用を援助	受験や講習会の受講に時間的に配慮	勉強会・講習会を独自に開催	特に支援していない	無回答
費用支援型	クレーン・デリック運転士	71	97.2	60.6	9.9	0.0	0.0
	玉掛け技能	179	92.7	46.4	5.0	1.7	1.1
	建築物環境衛生管理技術者	22	90.9	40.9	4.5	0.0	0.0
	フォークリフト技能者	362	90.1	41.2	3.9	4.7	1.1
	ITパスポート	39	87.2	12.8	10.3	12.8	0.0
	オラクルマスター	23	87.0	17.4	8.7	8.7	0.0
	安全管理者	195	86.7	41.0	4.1	5.6	0.5
	有機溶剤作業主任者	97	86.6	36.1	0.0	7.2	2.1
	衛生管理者	465	86.5	40.4	3.2	7.7	0.2
	技能検定	220	85.0	50.0	35.0	2.7	1.8
	溶接	86	84.9	48.8	12.8	3.5	1.2
	技術士	46	84.8	34.8	32.6	8.7	2.2
	危険物取り扱い	230	83.5	38.3	3.0	8.7	0.9
	旅行業務取扱主任者	24	79.2	37.5	0.0	20.8	0.0
	ボイラー技士	67	77.6	46.3	1.5	10.4	1.5
	施工管理技士	172	77.3	39.5	12.8	13.4	1.2
	電気主任技術者	110	77.3	35.5	11.8	10.0	1.8
	電気工事士	108	70.4	38.0	10.2	14.8	1.9
	中小企業診断士	20	70.0	15.0	10.0	20.0	0.0
	マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト	21	66.7	19.0	0.0	28.6	0.0
	販売士	41	65.9	22.0	4.9	24.4	2.4
	語学検定（英検・TOEIC・TOEFLなど）	132	63.6	21.2	15.9	22.7	2.3
	一級建築士	101	63.4	37.6	9.9	21.8	1.0
	応用情報技術者	52	61.5	19.2	21.2	25.0	1.9
	基本情報技術者	62	56.5	21.0	24.2	24.2	1.6
	自動車整備士	87	52.9	48.3	16.1	20.7	1.1
	宅地建物取引主任者	66	51.5	40.9	19.7	27.3	0.0
	ファイナンシャル・プランナー	26	50.0	15.4	7.7	38.5	0.0
簿記	201	44.8	21.4	9.0	39.8	2.5	
二級建築士	41	43.9	41.5	7.3	24.4	2.4	
時間配慮型	ケアマネージャー	30	40.0	66.7	10.0	20.0	0.0
	介護福祉士	37	40.5	62.2	27.0	16.2	0.0
	社会福祉士	22	40.9	50.0	9.1	18.2	9.1
勉強会型	社内資格・検定	116	37.1	21.6	51.7	11.2	3.4
無支援型	薬剤師	27	3.7	3.7	0.0	85.2	7.4
	自動車免許	249	16.9	17.7	0.8	69.1	2.4
	看護師	34	20.6	23.5	2.9	55.9	2.9
	社会保険労務士	42	38.1	9.5	0.0	54.8	2.4
	調理士	69	23.2	29.0	1.4	53.6	1.4
	管理栄養士	36	30.6	36.1	8.3	41.7	2.8

図表4-4 資格・検定の取得に対する企業側の支援の対象（複数回答）：回答によるタイプ分け

(単位：%)

		n	正社員・非 正社員いず れも対象	正社員 のみ対象	非正社員 のみ対象	支援はして いない	無回答
正社員支援型	オラクルマスター	23	13.0	82.6	0.0	4.3	0.0
	技術士	46	13.0	80.4	0.0	6.5	0.0
	安全管理者	195	15.9	78.5	0.0	3.1	2.6
	建築物環境衛生管理技術者	22	22.7	77.3	0.0	0.0	0.0
	衛生管理者	465	18.3	76.3	0.0	3.7	1.7
	施工管理技士	172	15.1	73.3	0.0	8.1	3.5
	電気主任技術者	110	20.9	72.7	0.0	5.5	0.9
	有機溶剤作業主任者	97	23.7	72.2	0.0	2.1	2.1
	ITパスポート	39	20.5	71.8	0.0	0.0	7.7
	応用情報技術者	52	13.5	71.2	0.0	13.5	1.9
	溶接	86	29.1	70.9	0.0	0.0	0.0
	一級建築士	101	17.8	69.3	0.0	10.9	2.0
	危険物取り扱い	230	26.1	68.7	0.0	3.0	2.2
	ボイラー技士	67	23.9	68.7	0.0	6.0	1.5
	玉掛け技能	179	30.7	67.0	0.0	1.1	1.1
	マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト	21	14.3	66.7	0.0	19.0	0.0
	基本情報技術者	62	17.7	66.1	0.0	12.9	3.2
	中小企業診断士	20	25.0	65.0	0.0	10.0	0.0
	クレーン・デリック運転士	71	33.8	64.8	0.0	0.0	1.4
	技能検定	220	31.4	64.1	0.0	1.8	2.7
	自動車整備士	87	23.0	63.2	0.0	9.2	4.6
	電気工事士	108	22.2	63.0	0.0	9.3	5.6
	販売士	41	29.3	58.5	0.0	9.8	2.4
	二級建築士	41	24.4	58.5	0.0	14.6	2.4
	フォークリフト技能者	362	37.6	58.3	0.0	2.5	1.7
	旅行業務取扱主任者	24	33.3	58.3	0.0	4.2	4.2
	宅地建物取引主任者	66	24.2	57.6	0.0	13.6	4.5
	社内資格・検定	116	37.9	56.0	0.0	2.6	3.4
	簿記	201	20.9	52.2	0.0	24.4	2.5
	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	132	31.8	50.0	0.0	15.2	3.0
	社会保険労務士	42	14.3	47.6	0.0	35.7	2.4
ファイナンシャル・プランナー	26	23.1	46.2	0.0	26.9	3.8	
管理栄養士	36	33.3	36.1	0.0	22.2	8.3	
雇用形態 無関係型	介護福祉士	37	67.6	18.9	0.0	13.5	0.0
	社会福祉士	22	50.0	27.3	0.0	13.6	9.1
	ケアマネージャー	30	46.7	36.7	0.0	16.7	0.0
無支援型	調理士	69	30.4	29.0	0.0	33.3	7.2
	薬剤師	27	18.5	14.8	0.0	59.3	7.4
	自動車免許	249	16.1	28.5	0.0	50.6	4.8
	看護師	34	26.5	17.6	0.0	50.0	5.9

#### 第4節 資格・検定を取得した従業員に対する人事管理上の措置

各資格・検定を取得した従業員に対する人事管理上の措置についての回答を、**図表4-5**に整理した。

「昇進・昇格にあたって考慮する」の回答割合が最も高い「昇進・昇格反映型」の資格・検定は6つである。このうち「昇進・昇格にあたって考慮する」の回答割合が他の選択肢の回答割合に比べて高く、昇進・昇格反映型としての性格が強いとみられるのは「旅行業務取扱主任者」と「社内資格・検定」である。残る資格のなかで、「技術士」と「施工管理技士」は「祝い金(一時金)を支給」の回答割合が「昇進・昇格にあたって考慮する」とほぼ同程度であり、「販売士」は「表彰・掲示などを行なっている」の回答割合が「昇進・昇格にあたって考慮する」と同じである。また、「簿記」は「昇進・昇格にあたって考慮する」の回答割合が3割未満にとどまっているうえに、「配置や異動にあたって考慮する」や「特に何もやっていない」という選択肢の回答割合も25~29%とほぼ並んでおり、「昇進・昇格にあたって考慮する」の回答割合が最も高いものの、企業によって人事管理上の扱いが様々な資格・検定であるとみられる。

「配置や異動にあたって考慮する」の回答割合が最も高い「配置反映型」に該当する資格・検定には、まず「ケアマネジャー」がある。ケアマネジャーは居宅介護支援事業者や介護保険施設においては配置が義務付けられており、特に居宅介護保険支援事業者では配置したケアマネジャーのうち1人を管理者としなければならないことから、配置や異動にあたって考慮される度合いがとりわけ強いとみられる。また、「有機溶剤作業主任者」、「クレーン・デリック運転士」、「溶接」、「ボイラー技士」といった業務独占資格も配置反映型に該当する。これらは特定の業務に従事するために求められる資格・検定であるから、配置反映型の性格をもつものと理解できる。「安全管理者」、「衛生管理者」も、事業所の安全衛生を確保する目的で資格取得者の選任が義務付けられていることから配置反映型に該当する結果になっていると思われるが、「配置や異動にあたって考慮する」の回答割合が低いうえに他の選択肢での回答も一定程度あり、上記の業務独占資格に比べると配置反映型の性格はやや弱い。

そのほか「社会保険労務士」、「社会福祉士」、「語学検定」が配置反映型に該当する。「社会福祉士」については、2006年4月より介護保険法によって市町村への設置が義務付けられた「地域包括支援センター」において、総合相談業務、サービス事業者および行政との連携業務担当者として位置づけられ、配置が義務付けられていることも反映されて、「配置や異動にあたって考慮する」の回答割合が高くなっているものと推測される。

図表4-5 資格・検定を取得した従業員に対する人事管理上の措置（複数回答）：回答によるタイプ分け

(単位:%)

		n	昇進・昇格にあたって考慮する	配置や異動にあたって考慮する	昇給の額・率に差がつく	月々の資格手当を支給	祝い金(一時金)を支給	賞与に上乘せする	表彰・掲示などを行っている	特に何もやっていない	無回答
昇進昇格反映型	技術士	46	54.3	32.6	17.4	43.5	54.3	4.3	32.6	6.5	0.0
	施工管理技士	172	49.4	26.2	12.2	44.8	45.9	3.5	20.9	3.5	2.9
	旅行業務取扱主任者	24	45.8	37.5	12.5	29.2	8.3	0.0	12.5	20.8	0.0
	社内資格・検定	116	44.0	23.3	9.5	28.4	11.2	1.7	20.7	14.7	0.9
	販売士	41	31.7	12.2	9.8	7.3	19.5	2.4	31.7	24.4	0.0
	簿記	201	29.4	25.9	8.0	10.9	18.4	1.5	8.0	28.9	2.0
	配置反映型	ケアマネージャー	30	40.0	60.0	16.7	50.0	10.0	3.3	6.7	10.0
有機溶剤作業主任者		97	19.6	44.3	4.1	12.4	7.2	0.0	10.3	23.7	2.1
クレーン・デリック運転士		71	21.1	43.7	5.6	18.3	9.9	2.8	9.9	25.4	0.0
溶接		86	26.7	43.0	5.8	22.1	8.1	1.2	10.5	26.7	1.2
社会保険労務士		42	28.6	42.9	7.1	16.7	42.9	0.0	11.9	11.9	0.0
社会福祉士		22	31.8	40.9	9.1	31.8	13.6	0.0	4.5	18.2	9.1
ボイラー技士		67	20.9	38.8	10.4	32.8	14.9	4.5	9.0	14.9	1.5
安全管理者		195	28.2	37.4	4.6	19.0	2.6	1.0	9.2	24.1	2.6
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)		132	27.3	36.4	6.1	9.8	22.7	2.3	11.4	23.5	2.3
衛生管理者		465	25.2	31.8	4.3	26.2	11.2	1.7	12.5	24.7	1.1
手当支給型	薬剤師	27	14.8	33.3	11.1	63.0	0.0	7.4	0.0	14.8	7.4
	自動車整備士	87	43.7	41.4	19.5	60.9	18.4	3.4	13.8	6.9	1.1
	宅地建物取引主任者	66	34.8	33.3	7.6	54.5	36.4	4.5	13.6	6.1	0.0
	看護師	34	14.7	32.4	11.8	50.0	2.9	0.0	2.9	32.4	2.9
	建築物環境衛生管理技術者	22	31.8	22.7	4.5	50.0	22.7	9.1	13.6	9.1	0.0
	二級建築士	41	36.6	26.8	4.9	48.8	34.1	0.0	12.2	4.9	7.3
	介護福祉士	37	40.5	48.6	18.9	48.6	16.2	2.7	5.4	10.8	0.0
	一級建築士	101	47.5	30.7	13.9	48.5	48.5	5.0	18.8	4.0	0.0
	電気工事士	108	24.1	32.4	6.5	45.4	23.1	5.6	14.8	13.9	1.9
	管理栄養士	36	36.1	30.6	16.7	41.7	25.0	0.0	8.3	13.9	2.8
	電気主任技術者	110	25.5	35.5	7.3	37.3	28.2	5.5	15.5	15.5	1.8
	危険物取り扱い	230	24.3	30.9	9.6	33.0	11.3	1.3	11.7	21.3	2.2
	一時金支給型	応用情報技術者	52	28.8	9.6	3.8	21.2	69.2	1.9	40.4	9.6
基本情報技術者		62	35.5	9.7	1.6	27.4	58.1	0.0	33.9	4.8	1.6
オラクルマスター		23	13.0	17.4	4.3	21.7	56.5	8.7	34.8	8.7	0.0
中小企業診断士		20	40.0	40.0	5.0	15.0	45.0	0.0	35.0	0.0	0.0
ITパスポート		39	33.3	12.8	0.0	10.3	41.0	0.0	25.6	12.8	2.6
マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト		21	23.8	23.8	0.0	9.5	38.1	0.0	14.3	19.0	0.0
ファイナンシャル・プランナー		26	23.1	19.2	0.0	15.4	34.6	3.8	11.5	23.1	0.0
表彰型	技能検定	220	34.1	27.7	6.4	32.7	27.3	4.1	35.9	7.7	1.4
無措置型	自動車免許	249	4.4	13.3	4.4	9.2	1.2	0.4	2.0	69.5	3.2
	フォークリフト技能者	362	11.6	35.6	4.7	14.1	1.4	0.0	6.6	39.5	2.2
	玉掛け技能	179	12.3	35.8	3.9	14.5	1.7	1.1	8.9	37.4	2.2
	調理士	69	24.6	21.7	15.9	27.5	7.2	1.4	1.4	34.8	1.4

資格・検定の取得に対する金銭面での措置のうち、通常の処遇に反映する「月々の資格手当を支給」の回答が最も多い「手当支給型」タイプと称することができる資格・検定に該当するのは12種類である。なかでも「月々の資格手当を支給」に回答が集まる割合が高く、手当支給型の性格が強いのは「薬剤師」、「看護師」といった医薬系の資格である。対照的に「一級建築士」や「介護福祉士」は、他の選択肢にも「月々の資格手当を支給」と同程度の回答割合のものがあ、複数の性格を併せ持つと言える。

一方、資格・検定の取得に対する金銭面での措置のうち、措置が取得時のみにとどまる「祝

い金(一時金)を支給」という回答が最も多かった「一時金支給型」タイプに該当するのは、情報技術関連の資格・検定、「中小企業診断士」、「ファイナンシャル・プランナー」である。

「表彰・掲示などを行なっている」の回答割合が最も高くなっている資格・検定は技能検定のみである。もっとも技能検定における各選択肢の回答割合をみると、「昇進・昇格にあたって考慮する」、「月々の資格手当を支給」といった選択肢の回答割合が、「表彰・掲示などを行なっている」とほぼ同じであるほか、「配置や異動にあたって考慮する」や「祝い金(一時金)を支給」の回答割合も 30%近くあるので、一概に特徴づけられない資格・検定とみるのが妥当であろう。

「特に何もやっていない」という回答の割合が最も高い「無措置型」の資格・検定は、「自動車免許」、「フォークリフト技能者」、「玉掛け技能」、「調理士」の4つである。「自動車免許」は「特に何もやっていない」に全回答の約7割が集中しており、無措置型の性格が顕著であると言える。「フォークリフト技能者」、「玉掛け技能」は業務独占資格で、運送・搬送業務などにおいては必要となることが多い資格のため、「特に何もやっていない」という回答の割合が相対的に高くなっていると考えられるが、「配置や異動にあたって考慮する」の回答割合も同程度に達している。

#### 第5節 各資格・検定の取得を重視する理由

企業が各資格・検定の取得を重視するのはどのような理由からか。9つの選択肢を設け、複数選択可能という形で回答を得た(図表4-6)。

最も回答の多かった選択肢を基にタイプ分けをしていくと、ほとんどの資格・検定が「基礎的な知識・技能の習得に役立つ」または「担当業務に必要な知識・技能の習得に役立つ」の回答割合が最も高いタイプに該当する。「基礎的な知識・技能の習得に役立つ」の回答割合が最も高かった「基礎知識・技能習得貢献型」は、「基本情報技術者」、「ITパスポート」、「販売士」の3つであるが、いずれも「担当業務に必要な知識・技能の習得に役立つ」の回答割合も「基礎的な知識・技能の習得に役立つ」の回答割合とあまり差がない。

図表4-6 資格・検定を重視する理由（複数回答）：回答によるタイプ分け

(単位:%)

		n	基礎的な知識・技能の習得に役立つ	担当業務に必要な知識・技能の習得に役立つ	幅広い知識・技能の習得に役立つ	中長期的なキャリア形成に役立つ	法規対応上、必要	業界での取引上必要	顧客・発注者に、従業員の職業能力をアピール	企業内における職業能力評価に役立つ	その他	無回答
基礎知識・技能習得貢献型	基本情報技術者	62	71.0	62.9	33.9	17.7	0.0	4.8	33.9	25.8	1.6	1.6
	ITパスポート	39	61.5	56.4	28.2	10.3	0.0	12.8	12.8	12.8	0.0	2.6
	販売士	41	61.0	61.0	46.3	34.1	0.0	2.4	7.3	14.6	0.0	0.0
業務知識・技能習得貢献型	技能検定	220	51.4	81.4	31.8	31.8	13.6	14.5	30.5	22.3	0.5	0.5
	社会保険労務士	42	31.0	78.6	38.1	35.7	16.7	0.0	9.5	11.9	4.8	0.0
	施工管理技士	172	31.4	77.3	30.2	26.7	58.1	38.4	36.6	11.6	0.6	1.2
	介護福祉士	37	51.4	75.7	40.5	37.8	45.9	5.4	21.6	18.9	2.7	0.0
	二級建築士	41	34.1	75.6	26.8	9.8	36.6	14.6	36.6	7.3	0.0	2.4
	電気工事士	108	37.0	75.0	22.2	18.5	43.5	23.1	25.9	11.1	0.9	0.9
	中小企業診断士	20	35.0	75.0	55.0	50.0	0.0	5.0	35.0	5.0	0.0	0.0
	オラクルマスター	23	34.8	73.9	26.1	17.4	0.0	17.4	60.9	13.0	4.3	0.0
	ケアマネージャー	30	43.3	73.3	36.7	50.0	40.0	20.0	13.3	26.7	3.3	0.0
	一級建築士	101	29.7	73.3	31.7	26.7	54.5	29.7	45.5	13.9	0.0	1.0
	簿記	201	55.7	73.1	23.9	26.9	3.5	3.0	3.0	13.4	1.0	2.5
	応用情報技術者	52	48.1	73.1	48.1	28.8	0.0	5.8	40.4	28.8	1.9	0.0
	電気主任技術者	110	29.1	72.7	22.7	13.6	53.6	24.5	19.1	7.3	0.0	0.9
	自動車整備士	87	40.2	71.3	35.6	31.0	60.9	14.9	20.7	18.4	0.0	1.1
	宅地建物取引主任者	66	34.8	71.2	31.8	24.2	54.5	48.5	27.3	9.1	0.0	0.0
	有機溶剤作業主任者	97	30.9	71.1	14.4	8.2	61.9	5.2	1.0	7.2	1.0	1.0
	ボイラー技士	67	19.4	70.1	13.4	16.4	55.2	9.0	9.0	9.0	0.0	0.0
	技術士	46	32.6	69.6	52.2	37.0	21.7	43.5	65.2	21.7	0.0	0.0
	管理栄養士	36	38.9	69.4	36.1	33.3	41.7	27.8	19.4	16.7	2.8	2.8
	危険物取り扱い	230	33.0	68.7	14.8	11.7	65.7	8.7	3.5	7.8	0.4	0.9
	社会福祉士	22	45.5	68.2	50.0	45.5	36.4	4.5	13.6	18.2	4.5	4.5
	クレーン・デリック運転士	71	38.0	67.6	7.0	14.1	53.5	11.3	7.0	4.2	1.4	0.0
	溶接	86	51.2	67.4	17.4	12.8	38.4	20.9	15.1	16.3	2.3	1.2
社内資格・検定	116	56.9	67.2	34.5	27.6	2.6	8.6	21.6	47.4	2.6	0.9	
ファイナンシャル・プランナー	26	46.2	65.4	57.7	23.1	0.0	3.8	34.6	15.4	0.0	0.0	
旅行業務取扱主任者	24	16.7	62.5	25.0	25.0	37.5	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	
調理士	69	52.2	62.3	24.6	13.0	26.1	15.9	11.6	11.6	1.4	1.4	
マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト	21	47.6	61.9	4.8	14.3	0.0	9.5	23.8	9.5	0.0	0.0	
玉掛け技能	179	37.4	59.2	7.8	7.3	58.7	10.6	2.2	2.2	1.7	0.0	
フォークリフト技能者	362	26.0	56.4	6.4	3.9	55.2	9.4	2.8	4.7	1.9	0.8	
法規対応型	衛生管理者	465	26.9	51.8	18.3	15.1	78.1	2.4	1.9	5.8	0.9	0.6
	薬剤師	27	14.8	33.3	11.1	3.7	77.8	22.2	7.4	3.7	3.7	7.4
	安全管理者	195	26.2	51.3	18.5	11.3	70.8	6.2	1.5	4.1	1.0	2.6
	建築物環境衛生管理技術者	22	22.7	59.1	31.8	18.2	68.2	50.0	27.3	4.5	0.0	0.0
	看護師	34	17.6	52.9	14.7	32.4	52.9	11.8	5.9	14.7	8.8	2.9
	自動車免許	249	10.8	20.9	2.8	3.2	35.3	13.7	1.2	3.2	30.9	6.4
キャリア形成者型	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	132	31.8	47.7	25.8	50.0	0.0	14.4	19.7	18.9	7.6	1.5

「担当業務に必要な知識・技能の習得に役立つ」の回答割合が最も高い「業務知識・技能習得貢献型」のうち、「技術士」や「オラクルマスター」は「顧客・発注者に、従業員の職業能力をアピール」の回答割合が6割を超えており、社外へのアピールを目的としている資格・検定としても特徴づけられる。また、「電気主任技術者」、「自動車整備士」、「宅地建物取引主任者」、「有機溶剤作業主任者」、「ボイラー技士」、「危険物取り扱い」、「玉掛け技能」、「フォークリフト技能者」といった資格・検定は、「法規対応上、必要」の回答割合がいずれも5割を超え、法規対応という目的も併せ持って重視されている資格・検定であることがわかる。

「法規対応上、必要」の回答割合が最も高く、上記の諸資格・検定よりも法規対応目的で

重視されるという特徴が鮮明になるのは、「衛生管理者」、「薬剤師」、「安全管理者」、「建築物環境衛生管理技術者」といった資格・検定である。

今回の調査で選択肢に挙げた資格・検定のうち、「中長期的なキャリア形成に役立つ」という選択肢の回答割合が他の選択肢と比べて最も高かったのは「語学検定」であり、「キャリア形成寄与型」の資格・検定であると特徴付けることができる。ただ「中小企業診断士」と「ケアマネージャー」も、「中長期的なキャリア形成に役立つ」と回答されるケースが「語学検定」と同じ50.0%に達し、また「ケアマネージャー」と同様介護関連の資格・検定である「社会福祉士」も「中長期的なキャリア形成に役立つ」の回答割合が45.5%と、他の資格・検定に比べて高い。これらの資格・検定も、中長期的なキャリア形成につながると認識される傾向が強い、「キャリア形成寄与型」の性格を持つ資格であると言えよう。